

番 号	2	事業名	ごみ集積容器整備等補助金事業
-----	---	-----	----------------

① 何の／誰のために、どのようなことをしていますか？

ごみを出しやすく、収集しやすい環境を整備するため、3世帯以上が利用するごみの拠点回収場所へごみ集積容器を設置する又は既存のごみ集積容器を修繕する費用を支援しています。

※ 補助率等は、別添の募集チラシをご覧ください。

② この事業によって、どのような効果・成果がありましたか？

- ・ カラス等によるごみの飛散を防止する効果がありました。
- ・ ナンバーロックで施錠し、利用者だけが番号を共有することで、他所からの持ち込み（不法投棄）が減少しました。

③ 手数料収入をどれだけ・どのように使っていますか？

	補助金額	交付件数等
平成30年度	333千円	9件（木津 0、加茂 2、山城 7）
令和元年度	858千円	16件（木津 2、加茂 2 山城 12）

注1）平成30年12月3日から受付を開始しました。（実質4カ月）

注2）令和元年度の実績は、10月末時点の実績です。（実質7カ月）

④ 具体的な仕事の内容は、どのようなものですか？

- ① 地域長会議や広報紙により、補助金を募集します。
- ② 希望者と設置方法や効果的な機種等を協議します。
- ③ 申請を受け付けます。
- ④ 申請書を審査し、交付を決定します。
- ⑤ 補助事業の完了を確認し、請求を受けて補助金を交付します。

⑤ 市民(利用者)の声はどうか？

長年、カラス等の被害や不法投棄に悩まされてきたが、金銭的な負担から設置できずにいた物を整備でき、被害が軽減したとの声があります。

⑥ 事業費・指標はどのように推移していますか？

	平成３０年度	令和元年度	
		実 績	前年比
補助金額(千円)	３３３千円	８５８千円	２５８％
指標：補助件数	９件	１６件	１７８％

注１）平成３０年１２月３日から受付を開始しました。（実質４カ月）

注２）令和元年度の実績は、１０月末時点の実績です。（実質７カ月）

⑦ これまでに、どのような見直しを行いましたか？

見直しは行っていません。

⑧ どのような課題がありますか？

利用者間で自己負担の捻出方法が折り合わず、申請に至らない事例があります。

⑨ 今後の予定は、どのようになっていますか？

現行のとおり継続します。